

市民部 目標

【概要】

市民部は、市民課・税務課・天羽行政センター・環境保全課の4課で構成し、戸籍・住民基本台帳及び印鑑登録、年金、自治の振興、市民活動の推進、市民相談、市税、環境の保全、廃棄物の減量及び処理に関する施策に取り組んでいます。

市民部の目標（令和元年度）	市民部長 鶴岡 正義
【基本方向】 市役所の総合窓口であることを常に意識し、迅速・的確な窓口対応に努め、市民に信頼されるサービスを提供します。市政運営の根幹となる自主財源の確保を図るため、的確な課税対象の把握に努めるとともに、税の公平性を確保するため、滞納処分等について厳正に対処します。ごみの減量化と再資源化を推進するとともに、環境に対する意識づくりやモラル向上のための啓発活動を行います。	
【達成すべき目標】 - 市税徴収率の向上 新規滞納者の防止と滞納者への厳正な処分を行うことにより、千葉県平均以上の徴収率を目指します。 また、納付の利便性の向上のため、口座振替を推進します。 （仮称）第2期君津地域広域廃棄物処理事業の推進 6市1町（木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、鴨川市、南房総市及び鋸南町）で協力・連携し、事業の推進を図ります。 - マイナンバーカードの交付率向上 マイナンバーカードを利用して取得できる、諸証明のコンビニ交付の利便性や制度の必要性を周知し、マイナンバーカードの交付率の向上に努めます。 - 市民活動団体への支援の強化 市民活動団体登録制度の確立、市民活動推進物品貸出制度の周知及び充実に努めます。	【目標の達成度】 - 市税徴収率の向上 新規滞納者を防止するため、納付に遅れがある税について、年3回（4月、8月、12月）催告書を送付し、納付のない者については、財産調査を行い差押等実施しました。 納付機会の拡充を図るためのクレジットカード納付については、平成31年4月に運用を開始しました。 （仮称）第2期君津地域広域廃棄物処理事業の推進 関係市町や廃棄物対策準備室と調整し、スケジュールどおりに進捗しました。 - マイナンバーカードの交付率向上 小中学校の保護者や、窓口に住民票・印鑑証明の取得のため来庁した市民の方へチラシを配布するなど、コンビニ交付の利便性や制度の必要性の周知に努めました。 - 市民活動団体への支援の強化 市民活動団体の登録を開始しました。市民活動推進物品貸出制度の周知及び充実に努めました。

市民課 目標

【概要】

市民課は、市民活動推進室・市民係の1室1係15人で構成し、自治の振興、市民相談、戸籍・住民基本台帳、印鑑登録及び年金事務等に取り組んでいます。

市民課の目標（令和元年度）		市民課長 平野 正行
【基本方向】 極めて重要な個人の情報を扱っているという認識のもとに、正確かつ迅速な業務処理に務め、来庁された市民等から信頼を得る窓口サービスを提供します。また、旅券申請窓口を開設し、市民の利便性の向上を図ります。		
【達成すべき目標】 1 マイナンバーカード交付率の向上及び円滑な交付 マイナンバーカードの必要性やコンビニ交付証明の利便性を小中学校のPTA会議や出前講座等を利用して周知し、交付率向上を図ります。 申込者に対して円滑な交付を推進するため、日曜交付を継続します。 2 住民票及び印鑑証明のコンビニ交付の推進 平成30年10月から実施している、住民票、印鑑証明のコンビニ交付について、マイナンバーカードの取得推進に合わせ、市民に利便性を周知します。 3 旅券窓口の開設 令和元年10月から旅券事務の権限委譲を受け、旅券窓口を開設します。スムーズな開設に向けて、事務手続きを遺漏のないよう進め、市民への周知を図ります。	【目標の達成の度】 1 マイナンバーカード交付率の向上及び円滑な交付 マイナンバーカードの必要性やコンビニ交付証明の利便性を周知するため、小中学校の保護者や、窓口で住民票・印鑑証明を取得した市民の方へチラシを配布しました。 また、申込者に対して円滑な交付を推進するため、毎月一回日曜交付の実施や事業所への出張申請受付などを実施しました。 (令和2年3月31日現在のマイナンバーカード交付率 12.4%) 2 住民票及び印鑑証明のコンビニ交付の推進 1に同じく、マイナンバーカードの必要性やコンビニ交付証明の利便性を周知するため、小中学校の保護者や、窓口で住民票・印鑑証明を取得した市民の方へチラシを配布し、周知に努めました。 3 旅券窓口の開設 令和元年10月から旅券窓口を開設しました。 (令和2年3月末現在の申請件数 252件)	

市民活動推進室 目標

【概要】

市民活動推進室は、担務制3名で構成し、NPO・地域ボランティアなどの市民活動支援、自治会・地縁団体の認可・コミュニティセンター管理などコミュニティ推進、人権・行政・結婚相談業務に取り組んでいます。

市民活動推進室の目標（令和元年度）	市民活動推進室長 赤井 明浩
【基本方向】 自主的、自発的にまちづくりに取り組んでいる、また、取り組もうとしている市民活動団体へ、市民活動災害補償制度や市民活動推進物品貸出制度の支援を行います。新たに市民活動への参加機会の拡大と市民活動団体のネットワークを築くため、団体登録制度を実施し、団体の情報を積極的に発信します。 また、区の自主的、主体的活動に対し、相談・指導・情報提供などにより区と行政との連携を密にするとともに支援を行います。悩みを持つ市民が気軽に相談することができるよう、また、結婚を希望する市民に出会いの場を提供できるよう、人権・行政相談、結婚相談を実施します。	
【達成すべき目標】 1 市民活動団体登録制度の実施 市民活動団体の情報を市に登録し、活動内容を市のホームページなどで紹介する制度を実施します。それにより、広く団体や活動のPRを図り、活動の活性化、団体同士の連携などを進めます。 2 区と行政との連携 相談・指導・情報提供などを行い、区と行政との連携を密にすることで更なる支援を実施します。 3 人権・行政・結婚相談の周知 悩みを持つ市民が気軽に相談することができるよう、また、結婚を希望する市民に出会いの場を提供できるよう、その趣旨と相談開催日を市民に対し周知します。	【目標の達成度】 1 市民活動団体登録制度の実施 市民活動団体の情報を市に登録し、活動内容を市のホームページなどで紹介する制度を実施しました。団体や活動のPRを図り、活動の活性化、団体同士の連携などを進めました。 2 区と行政との連携 相談・指導・情報提供などを行い、区と行政との連携を密にすることで支援を実施しました。 3 人権・行政・結婚相談の周知 悩みを持つ市民が気軽に相談することができるよう、また、結婚を希望する市民に出会いの場を提供できるよう、その趣旨と相談開催日を市民に対し周知しました。

税務課 目標

【概要】

税務課は、徴収対策室・市民税係・資産税係・納税係の1室3係31名で構成し、市・県民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税等の賦課及び収納管理業務に取り組んでいます。

税務課の目標（令和元年度）	税務課長 平野 勉
【基本方向】 安定した行財政運営に向けて、基本となる自主財源の確保を図るため、課税対象の的確な把握に努めるとともに、税の公平性を確保するため、滞納処分等厳正に対処します。	
【達成すべき目標】 1 税証明のコンビニ交付の利用促進 平成30年10月1日からコンビニ交付を実施したため、市民の利用促進に取り組めます。 2 地方税共通納税のシステムの導入 平成31年10月から全地方団体が加入運営しているeLTAXを活用し、法人市民税・住民税特別徴収分を対象として、地方税共通納税システムを導入します。 3 口座振替新規加入者の促進 滞納繰越額の減少が見込まれる市税口座振替の加入率が県内でも低いため、加入率を増やします。	【目標の達成度】 1 税証明のコンビニ交付の利用促進 新聞や情報紙へ掲載（ホームページ）や窓口でのチラシ配布など啓発を行いました。 2 地方税共通納税のシステムの導入 eLTAXを活用し、法人市民税・住民税特別徴収分を対象として、10月1日から地方税共通納税システムを導入しました。 3 口座振替新規加入者の促進 4月1日から7月31日まで市税口座振替新規加入促進キャンペーンを実施し、対象者に特典として市指定ごみ袋を進呈しました。 キャンペーン特典対象者は482人となり、R1加入率は35.13%（軽自動車税を除く3税）となりました。

徴収対策室 目標

【概要】

徴収対策室は、担務制 9 名体制で構成し、市・県民税、固定資産税、軽自動車税等の市税及び、国民健康保険税の徴収業務に取り組んでいます。

徴収対策室の目標（令和元年度）	徴収対策室長 秦野 憲一
【基本方向】 市税収入の確保は市民サービスのために必要不可欠であり、公平な税負担の観点から、納税に対して不誠実な滞納者には積極的に差押処分を実行します。	
【達成すべき目標】 1 徴収率の向上 現年度分滞納者に対しては、早期に催告書を送付し、滞納処分を実施します。 過年度分滞納者に対しては、動産、不動産の差押えを強化し、滞納額の縮減を図ります。	【目標の達成度】 1 徴収率の向上 現年度分滞納者に対し、納付を求める催告書を年 3 回（4 月、8 月、12 月）、約 2,500 件送付しました。 滞納処分については、703 件の差押を、59,498,011 円の換価を行いました。

天羽行政センター 目標

【概要】

天羽行政センターは、市民係・峰上出張所の2係7名で構成し、諸証明の交付、市税等の納付、各種届出及び申請受付等の窓口業務に取り組んでいます。

天羽行政センターの目標(令和元年度)	天羽行政センター所長 荒井 晃
【基本方向】 天羽地区住民に対する窓口として、本庁各課と連絡調整のもと、地域住民の視野に立った利便性の向上に努めます。	
【達成すべき目標】 1 窓口業務体制の向上 窓口業務において正確性を基本に懇切丁寧、迅速性を心がけ、関係部署との連携を密にし、サービス向上を目指します。 2 マイナンバーカード交付率の向上及び円滑な交付 マイナンバーカードの必要性やコンビニ交付証明の利便性を区長会議等を活用して周知し、交付率向上を図ります。 マイナンバーカードの交付窓口を設置し、円滑な交付に取り組めます。	【目標の達成度】 1 窓口業務体制の向上 天羽行政センターでは、広範囲な受付業務を行っているため、関係部署との連携を密にし、事務処理を行うことが出来ました。 2 マイナンバーカード交付率の向上及び円滑な交付 マイナンバーカードの交付窓口を設置すると共に、窓口・区長会議・広報紙等で情報提供（パンフレット配布）を行い、円滑な交付に取り組むことが出来ました。

環境保全課 目標

【概要】

環境保全課は、環境保全係・環境衛生係・環境センターの3係12名、非常勤特別職として環境監視指導員2名で構成し、環境の保全、廃棄物の減量及び処理に取り組んでいます。

環境保全課の目標（令和元年度）	環境保全課長 中山 正之
【基本方向】 「豊かな自然が残り 多様な緑が織りなすまち 富津」を目指し、環境保全課が課題としている広域廃棄物処理に関する事業や「富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略実行計画」の事業等を推進します。	
【達成すべき目標】 1 （仮称）第2期君津地域広域廃棄物処理事業の推進 6市1町（木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、鴨川市、南房総市及び鋸南町）で協力・連携し、今年度予定しているスケジュールに則り事業の推進を図ります。 2 環境センターの今後のあり方について 環境センターの老朽化に伴い、資源ごみ（ビン・缶・ペットボトル）、粗大ごみ処理等について、民間活用等を検討し、最適な方策を立てます。 3 「富津市ごみダイエツト作戦100」の推進 広報ふつつ、ホームページ等を活用し、各種情報発信を積極的に実施し、第1段階の削減目標としている市民一人当たり20gの削減を目指します。 4 環境保全協定（細目協定）の改定 千葉県、関係企業と個別に協議を実施、細目協定書の改定を行い、良好な環境の保全に努めます。	【目標の達成度】 1 （仮称）第2期君津地域広域廃棄物処理事業の推進 関係市町や廃棄物対策準備室と調整し、スケジュールどおりに進捗しました。 2 環境センターの今後のあり方について 台風15号により発生した災害廃棄物対策のため、中間報告以降の進捗がみられませんでした。 3 「富津市ごみダイエツト作戦100」の推進 広報ふつつ等で情報発信をしているが、災害廃棄物が大量に発生したため、目標達成には至りませんでした。 4 環境保全協定（細目協定）の改定 千葉県、関係企業と協議し、細目協定書の改定を実施しました。